

行ってよかった！

米国・テメキュラ市 訪問団報告



大山町の姉妹都市テメキュラ市。姉妹都市としての交流は平成6年から続いています。今年も訪問団員を募り、11月28日から12月5日までの間、ホームステイをしながら視察・交流を行いました。今回の公募で参加された方々の感想を紹介します。

米国・テメキュラ市との交流 (経緯)

テメキュラ市訪問団派遣は、ふるさと創生基金を利用した人材育成事業の一環としてスタート。テメキュラ市とは、1994年に姉妹都市縁組を行い、この16年間で延べ128人を派遣しています。

英語の不安あったけれど

英語が喋れない不安を抱えていましたが、自分の見聞を広めるために今回の国際交流に参加しました。テメキュラ市役所には、大山町ルームや花壇がありとても大切にされています。市役所のシステムマネージメントの素晴らしさに感銘を受け、これまでの国際交流の歴史を感じました。

ホストファミリーの計らいで私の目的でもある福祉施設の見学もできました。日本とアメリカの違いを肌で感じ、自己責任の重要性をこの研修で改めて感じました。

(富谷裕子)

交流ができた！

このたびはテメキュラ研修に参加させていただきありがとうございました。とうございました。

写真を使いながら、ホストファミリーと相互理解を図ったり濃茶や薄茶をふるまったり、他の家族も交えて合同でお好み焼きパーティーを行い交流を深めることができました。息つく暇のないツアー、疲れましたが二度と経験できない



▲傘踊りを披露しました

貴重な研修となりました。

(二宮 厚)

充実した研修

異なる文化・生活そのものをホームステイを通して、肌で実感しました。

その中で異なる点だけでなく共通点も多いと感じました。それは相手を気遣う気持ちです。私たちの気持ちを感じ、気遣ってくださいました。ありがとうございました。楽しく過ごせたことをテメキュラの皆さんに感謝するばかりです。今回の学びを活かし、今後このつながりを大切にしていきたいと思えます。とても充実した研修でした。

(下島麻友美)

一生の宝物

8日間という時間は驚くほどの速さで過ぎ去り、食文化・生活様式・宗教の違いはもろろんのこと、日本の家族とはまた違った家族同士のつながりの強さ、優しさ、そして心の広さが私にとってとても印象深く、大きな影響を与えてくれました。

飛び交う英語についていけないことも多々あり、自分の気持ちや伝えられず歯がゆい思いもたくさんしました。そうした悔しさも含めて、良い思い出です。

素敵な出会いをして、一生の宝物を手に入れたと思っています。

(荒松歩美)



▲ホストファミリーのみなさんと一緒に

感動の連続

アメリカでの毎日は感動の連続でした。今回の研修で一番印象に残っていることはたくさんの方の温かさに触れたことです。特にホームステイ先の方には感謝の気持ちでいっぱいです。帰国するとき、ホストファミリーから「私とあなたは家族だよ。いつでも来てね」といわれたときには涙が止まりませんでした。外国に素敵な家族ができたことが、この交流での一番のお土産です。(金本奈緒美)

平成23年度も訪問団の公募を予定しています。海を越え、テメキュラでの交流を深めてみませんか？

◆問い合わせ先 企画情報課

☎ 0859・54・5202



▲スーパーの野菜売り場。「量がすごい！」